

●第5回 豊郷町総合開発審議会 議事録

日 時：平成30年11月28日（水）

午後2:00～

場 所：豊郷町役場

別館3階 会議室

1. 会長あいさつ

会 長：前は基本計画の概ねの方向性についてご確認いただきましたが、本日はそれを踏まえ、基本計画のたたき台をお示しいただきましたので、当委員会として、時間の許す限り確認してまいりたいと思います。今日はこの場でどうしてもお伝えしたいことを中心にご意見をいただき、お伝えできなかったご意見等につきましては、ご意見シートに記入して締め切り日までに提出をしてください。皆様のご協力をよろしく願いいたします。

事 務 局：欠席者のご報告、資料1 第4回審議会議事録について。

2. 議題

(1) 第4回審議会「第5次豊郷町総合計画基本構想（素案）」へのご意見について

事 務 局：資料2 第4回審議会「第5次豊郷町総合計画基本構想（素案）」へのご意見シートのまとめの説明及び対応について説明。

委 員：花街道づくりに取り組む時に、材料や維持には費用が掛かるため継続するためにもぜひ予算化していただきたい。

会 長：他の部分も含め、次回修正（案）をお示しいただけるとのことですので、よろしく願いいたします。

(2) 第5次豊郷町総合計画基本計画（素案）について

事 務 局：資料3 第5次豊郷町総合計画基本計画（素案）第1章・第2章の説明。

会 長：P11 第1章 3. 地域における学習環境の充実 主要施策（2）と P28 第2章 4. 高齢者福祉の充実 主要施策（3）の生涯学習の義務教育化について、生涯学習と義務教育という言葉と一緒に使うのはそぐわないと思いますので、生涯における学習機会を体系的につくることとして、表現を「生涯学習の仕組みづくり」とした方が良いのではないのでしょうか。

委 員：今言われた生涯学習のように、再掲されているものも散見されますが、その場合は「再掲」などと記載された方がわかりやすいと思います。

会 長：同じ表記が出てきた場合には、「再掲」などの記載をお願いします。

委 員：今後は人口を増やすことが大事だと思いますので、子育て環境づくりにもっと力を入れるべきではないのでしょうか。

事 務 局：子育てについては、高校世代までの医療費無料化や小中学校給食費の無償化など町として取り組んできたことや、国も幼児保育・教育の無償化に取り組んでいくようですので、一定取り組みも充実してきたかと考えており、一方、高齢者施策にも取り組んでほしいというご意見もいただ

いておりますので、どちらも取り組んでまいりたいと思います。

委員：P 28 第2章4. 高齢者福祉の充実 主要施策（3）に「老人クラブの活性化」とありますが、存続も難しい現在「活性化」という表現が何を指すのかわかりにくく、大変重く感じられます。

会長：「活性化」のために何をすべきかわかりにくいという事ですね。できましたらご意見を言われる時、代替案のご提示もお願いできますでしょうか。

委員：P 18 第2章1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進 主要施策（2）に「豊郷町ボランティア協議会の強化と活動の充実」とありますが、ボランティア自体の高齢化が進む中、若い人が入ってこない現状がありますので、少しの時間でもできる登録制の個人ボランティアを増やしていく事が人材確保につながるのではないのでしょうか。

会長：ここでも「強化」と使われていますが、住民がボランティア活動をしやすいようになるように表現の検討をお願いしたいと思います。

委員：P 19 第2章1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進 主要施策（3）に「プラチナ人材」とありますが、シルバーとの違いが分かりづらいです。

また、同じく（4）に「豊郷町空き家・空き地情報バンク」が開設されたとのことですが、登録状況など現状はどのようになっているのでしょうか。

事務局：「プラチナ人材」についてですが、現在シルバー人材センターとしての活動は草刈りや葉刈りがメインになっているような状況です。もっといろいろな人材を登録できるようにするためシルバー人材センターの強化を図っていただきたいのですが、シルバーのままではわかりにくいと考えさらに良くなるというイメージで「プラチナ人材」としましたが、もうすこし説明を補足したいと思います。

「豊郷町空き家・空き地情報バンク」については、平成30年3月にオープンして、5月の固定資産税のお知らせを送るときにチラシを同封しました。現在登録数は0件となっていますが、登録したいという申し出が3件あり、現地調査などが済み次第登録されると思います。ただ、もう少し宣伝が必要だと考えています。

委員：子どもの子育て環境や教育環境に関連して、学童保育の手伝いなどをしていきますと小学校によって子どもの落ち着き具合に違いがあるように感じますが、教育方法など違いがあるのでしょうか。

事務局：町としては全体の教育方針に従い両校とも同じように進めていますので、学校のカラーもあるかと思いますが、子どもの個性の違いではないのでしょうか。

委員：P 19 の「プラチナ人材」ですが、「シルバー人材センター」＝「プラチナ人材センター」とするのではなく、「プラチナ」とするなら高齢の方に限らず、自分の持っている能力をボランティアで発揮できるような登録型にして、40代でも50代でも参加していただくようにしてはどうでしょうか。

また、P 18 の「ボランティア」についてですが、各地域には「分館

(公民館)」がありますのでそれを活用して、まず、町全体のボランティアではなく各地域のボランティアを育て地域のボランティアが地域の人を助ける形を作り、地域の活性化につなげてから、それを町全体に広げて行ったらよいのではないのでしょうか。

委員：P18 第2章1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進の主要施策(1) 多世代コミュニティの創造のところに自治会の問題が上がっていますが、現状、自治会の休止状態や新住民の増加、地区の再編による加入・未加入の問題などがあり、自治会のあり方そのものを見直す必要があると思います。しかし、それをどのように進めていけばよいのかが大きな課題なのではないのでしょうか。ここでは転入者の増加にしか触れていませんが、今後若い人の加入を促進するためにもコミュニティの中でどう進めていくのかを考える必要があると思います。

また、P38 第2章7. 共生のまちづくりですが、豊郷町においても国際交流協会などの設立を図っていく必要があるのではないのでしょうか。

委員：資料をすべて拝見して感じたことは、これ以上どんな福祉を求めるのかということです。それなりに恵まれた環境であると思いますので、財源のことを考えますと、自分でできることは自分でして、できないところは支援をし、町の負担などが増えるようなことにならないよう進めていくので十分ではないのでしょうか。

P18のボランティアのことですが、高齢者も自分のやりたいことに忙しく、どれくらいの方がボランティアに参加し、どんなボランティアがあるのかあまり知らないように思います。

委員：P34 第2章6. 医療・介護の基盤整備の現状と課題に「医療機関数はやや減少しているものの」とありますが、「やや」ではなく減少していると思うので文章を考えていただきたいです。

また、健康診断の受診や予防を入れていただき、医療費もかかっておりますので健康寿命をのばしていく必要があると思います。

委員：P18 第2章1. 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進 主要施策(2)「お互いさま」のまちづくりのところですが、「お互いさま」精神の啓発は、高齢者や障がい者の介護や生活支援、子育て支援に繋がっていくと思います。これからは、自分の持っている力を発揮できるボランティア活動につなげる取り組みを小さな地域から進めて行くことが必要で、その時にはやはり自治会が重要になってくると思います。

会長：前半を総括しますと、自治会や老人会など既存組織が今、立ち行かなくなっています。それをこれからの超人口減少社会の中でどうしていくのかですが、答えは「再編」だと思います。限られた人員と予算で地域の喫緊の課題の何に力を割くべきか、もう一度ここで考えなければ未来はないと考えています。ぜひこのコミュニティ施策のところに、難しいとは思いますが当事者が集まり再編について検討するという表現を入れていただきたいです。再編すべきことや方法はいろいろあると思いますが例をあげますと、児童の見守りでは青少年育成会やPTA、自治会など

がそれぞれ取り組んでいる場合があります。その力を結集したら、もう少し大きな力になるはずです。そのために校長先生が呼びかけて、1つにまとまって取り組んでいるところもあるようです。豊郷町でも、このようなことを各テーマでやっていていただきたいと思います。

事務局：先程の健康診断や予防についてですが、P24 第2章3. 健康づくりとスポーツの推進のところ、施策をあげていますのでご確認ください。

資料3 第5次豊郷町総合計画基本計画（素案）第3章・第4章・第5章の説明。

会長：P64 第4章2. 観光の振興 主要施策（2）中山道の街並みづくりですが、愛荘町でも中山道に交流拠点を作り活性化を図っているようです。ただ、愛荘町だけで取り組んで盛り上げるのに苦労されていますので、両町で連携し広域的に取り組みたいとの意向を持っておられます。是非連携して中山道を盛り上げていていただきたいです。また、歴史文化遺産で盛り上げるには古い建物や街並みが残っていなければいけないことはなく、その歴史を説明する看板1つあるだけでも、ファンにとってうれしいものです。ぜひ唯一無二の中山道を大事に、盛り上げていていただきたいです。

委員：P55 第3章5. 防災・減災対策の充実 主要施策（3）に「拠点避難場所5か所」とありますが、どこにあるかわかった方がよいのではないのでしょうか。

また、「ともに取り組む主要事業」の表の協働指針はどのように表現されるのでしょうか。

事務局：「拠点避難場所5か所」については、場所を明記したいと思います。

協働指針については、精査中ではありますが見方としまして、表の中で事業ごとにそれぞれ主体者には「◎」、協力者、参加者には「○」印をつけます。行政が主体者または協力者、参加者の場合には、行政の欄に印をつけたうえで担当課の欄に担当課名を入れるよう予定していますが、ご意見がございましたらお願いいたします。

委員：P64 第4章2. 観光の振興 主要施策（2）中山道の街並みづくりですが、中山道には「千樹寺」をはじめ「豊会館（又十屋敷）」や「伊藤忠兵衛記念館」など多くの歴史遺産がありますが、観光協会でも案内板の表示などができていませんので、ぜひやりたいと思います。「愛荘66かまど祭」は「とよさとハロウィン」と同じ日に開催してたかと思いますが愛荘町とは協議をして中山道のイベントなど一緒にやって盛り上げていきたいと思います。

委員：P60 第4章1. 農業の振興の現状と課題に「集落営農の法人化ができました。」とありますが、法人化を立ち上げもう20年になりますので、営農組合役員の高齢化が進んでおります。甲良町では連合式にしてお互い助け合っているようで、豊郷町でも法人化で安心せず次のステップを考える必要があると思います。

- 会長：ご担当課に確認し、踏み込んだ内容にできるか検討をお願いします。
- 委員：P 5 5 第 3 章 5. 防災・減災対策の充実 主要施策（2）に「女性や高齢者等昼間在宅の」とありますが、限定する必要はないように思います。
- 委員：P 5 5 第 3 章 5. 防災・減災対策の充実 主要施策（2）の「住民全員参加の防災訓練の実施」とありますが、地区によっては全員参加ですで行っているところもありますので、しているところとしていないところの差をなくしていく、という方向にされたら良いのではないのでしょうか。
- また、P 5 8 第 3 章 6. 地域安全対策の充実 主要施策（1）に子どもや高齢者も「安全に移動できる道路環境の確保」とありますが、子どもたちの通学を見てましても歩道がないところを歩かざるを得なかったり、雪の日など境目がわからず田んぼにはまってしまったりしていますので、大きなことだけではなく現状をしっかりと把握し対策していくことが重要だと思います。
- 委員：P 6 4 第 4 章 2. 観光の振興ですが、資源や魅力はいっぱいあるのにファンの発信力や人材不足を感じますし人材を育てる仕組みや仕事として雇える予算もないように思います。そのような状況の中では町としてできること、町と観光協会のできること、財源の確保や実現可能なことを地に足をつけて考え、「ご当地アイドルの結成」といったお金も時間もかかることではなく、参加型の SNS での発信やちょっとしたイベントを重ねるなどの具体的な取り組みに力を入れたほうが良いのではないのでしょうか。
- 委員：観光面では豊郷町には良いところがいっぱいあるので、ぜひ活用して欲しいです。
- 委員：同じく P 6 4 の主要施策（1）に「宿泊型体験学習プログラム」とありますが、これは民泊のことでしょうか。
- 事務局：民泊や、NPO が取り組んでいる改修した古民家での宿泊のことです。
- 委員：農家民泊を広めたかったのですが、自宅で受け入れるのは大変というご意見があったので、古民家を改装しそこに泊まってもらうように考えたのですが、人材や制度が厳しく難しいです。
- 委員：営業としてやっていただけの方がいれば年中受け入れられますね。
- 事務局：改修まではしたのですが、旅館業法があり難しかったです。また新しい民泊制度もできましたので、あらためてそちらで取り組もうかといった状況です。
- 委員：取り上げていただいていますし、取り組んでおられる方もいらっしゃるなら充実していただきたいと思います。同じく P 6 4 に江州音頭のことがありますが、運動会で踊っているような手踊りではなく豊郷から生まれた「扇踊り」や「傘踊り」を大事にしていきたいと考えていらっしゃる方がおられることを知りましたので、皆さんが知っている江州音頭を広めたいのか保存会の方が担っている「扇踊り」や「傘踊り」の保存や普及を進めていくのか、行政の方と話し合っ進める方向を決め

ていかれたらと思います。

委員：町内や県内で踊られているのは手踊りがほとんどなので、保存会として「扇踊り」や「傘踊り」を普及させるため両小学校に「傘踊り」をやっ
ていただいています。「扇踊り」は踊り自体が難しく、すぐに踊れるよう
になるというわけにはいきません。伝統芸能としてのPRが充分できて
いない状況ですが、絵本なども活用し、行政や観光協会のお力もお借り
して、観音盆の発祥地として「扇踊り」や「傘踊り」の普及を頑張って
いきたいと思っています。

委員：P 66～67 第4章3. 地域産業の振興と雇用対策の充実のところ
ですが、国が提示した小規模企業振興基本条例の制定について商工会代表
として今年の2月に町長に要望を出しました。近隣では多賀町で運用が
始まっているようですし、滋賀県としても自治体が取り組むことを推奨
しているようです。その取り組みをここに盛り込むほうがよいのかどう
か、判断しかねますのでご検討いただければと思います。

また、今、建設業は厳しい状況にあるので、インフラ整備を進めてい
ただけると助かります。

小売業の廃業が全国的にも広がっており空き店舗が増えていますの
で、空き店舗の活用を検討いただきたいです。

あと先程の老人会のことですが、組織率が20%と甲良町の50%に
比べても大変低い状況です。組織率をあげるためには啓発が重要だと思
います。

委員：観光については以前に県から補助金を得て湖東エリアで活動もしまし
たが、商工会だけでは広域での取り組みを行うことが難しかったので、1
市4町の湖東圏域もありますので行政にぜひ頑張ってもらいたいです。

委員：愛荘町と豊郷町の中山道のつながりを広めることはぜひ盛り上げてい
ていただきたいです。琵琶湖大橋を車で通ると音楽が流れるかと思いま
すが、豊郷町は江州音頭発祥の地ですので、中山道の一部を走ると江州
音頭が流れるようにしたり、飛び出し坊やに江州音頭の傘や扇を持たす
などを考えていくのも楽しいのではないかと思います。

委員：豊栄のさとにあるからくり時計は、昔各地域で江州音頭を踊る場所の横
にからくり人形を展示していたとの謂れがあり設置していますし、同じ
く外の芝生のところには江州音頭を踊れるステージが作られたのですが、
新幹線の騒音などの問題があり活用できていない状況です。江州音頭
に関する歴史的資料が千樹寺にはありますが展示する場所がなく、そう
いったことも含め江州音頭発祥の地としての施設を作っていただきたい
です。

会長：豊郷町にはP 15にある「先人を偲ぶ館」や「伊藤忠兵衛記念館」「豊会
館」といった博物館があるようですが、博物館行政はどの課がご担当さ
れているのでしょうか。

事務局：担当課がない状況です。

委員：学芸員がおらず、文化財や歴史の資料などの発掘もできていない状態
です。町長にも取り組んでほしいという要望をしていますが、歴史に関し

でも豊郷村の村史しかなく遅れている状況です。

会 長：豊郷町に学芸員がおられないことは問題だと思います。文化財保護法の改正があり来春より施行されますが、そこでは「地域における文化財の計画的な保存・活用の促進や、地方文化財保護行政の推進力の強化を図る」とされています。豊郷町にも歴史的な資源が多くありながら十分活かされていないのはもったいないと思います。P15の(2)文化遺産の保護・保存と活用の推進については、もう一步踏み込んで書いていただきたいと思います。

あと、全体を通してですが、どの自治体においても言えることですが、「出」を減らし「入」を増やす必要があります。「入」を増やすには産業や観光振興が重要です。豊郷町にはポテンシャルがまだまだあると思いますが、縦割りが多くまとまりがないことで力を発揮できていない印象を受けます。限られた予算や人材をいかに活かすか、なんとか一緒になって再構築していただくことが大きな力になっていくと思いますので取り組んでいただきたいです。

皆様、まだまだ言い足りないことや思いついたことがありましたら、ご意見シートにご記入いただき提出してください。よろしくお願いいたします。

3. その他

今後の予定

本日の会議の「ご意見シート」の提出：12月7日（金）まで

庁内各課ヒアリング：12月上旬（予定）

第6回総合開発審議会：12月26日（水）午後2時～（予定）

第7回総合開発審議会：平成31年2月5日（火）午後2時～（予定）

午後3時45分頃終了